

宿縁

六月号

千葉県市川市国府台五丁目二十六番二十九号

浄土真宗
本願寺派 **中原寺**

TEL 0477-372102
FAX 0477-372102

念仏に導かれた

実践の仏道を歩む



親鸞聖人がご誕生されて八百五十年、浄土真宗が開かれて八百年になるのを記念して、愛唱歌「みんな花になれ」が制作・発表されました。歌手加藤登紀子さんの作曲です

♪

一あなたが笑うと 花になる
見ている私も 花になる
いいことあるよ 笑ったら
誰でも花になれるんだ
空を見上げる花のよう

笑顔いっぱい咲かそうよ
空を見上げる花のように
笑顔いっぱい咲かそうよ
二あなたが泣いたら 雨になる

見ている私も 雨になる
いいんだいいんだ 泣いたって

雨がふるから 花が咲く

風によりそう花のように

やさしい笑顔が咲くんだよ

風によりそう花のように

やさしい笑顔が咲くんだよ

やさしい笑顔咲かそうよ

さまざま問題をかかえながら生きづらさを感じている人の多い現代にあつて、世帯を超えて共に笑い共に悲しみを分かち合える日々でありたいものですね

さて、本願寺の出版物月刊『大乘』六月号の「釈徹宗の随縁探訪」という紙面で、龍谷大学入澤崇学長の話しに大いに共感啓発される言葉が載っていました。

入澤さんは若い時、インドに行かれてから「仏教と社会」がご自身の大きなテーマになっていかれたそうです。そのきっかけは、紀元前二六八年インドを統一し即位したアシヨカ王が、仏教に帰依し、各地に釈尊の石柱を立て勅文を刻み、仏教に基づく政治を行いました。その碑文に「一切衆生利益安楽(すべての衆生の利益安楽のため

に)」とあるのを見てからだそうです。

この「一切衆生」という視点に立つことはとても大事ではないかと教えられます。

「一切」はすべてであり「衆生」はあまた

いのちあるものです。人間だけでなくあらゆるいのちのあるものは平等であるというのは仏教の理念です。ここに他の宗教との決定的違いがあります。ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の三つの宗教は、人間が唯一絶対神と契約を結び、人間は唯一絶対神に服従するかわりに、神は人間を保護してくれる…といった枠組みによって成立しているのです。

これに対し仏教は「自帰依(自らを拠り所とし)」「法灯明(真理をともし火とする)」と

いって、「自分自身」をそして「法(真理)」をよりどころとして、他のものにしたよるなどいうことです。それは釈尊の教えられた真理

(法)を自分なりにどのように活かしていくか、それが仏教においては大事なことだということです。

真理(法)に目覚めたものを「仏」といいますが、「一切衆生悉有仏性」といって「あらゆるいのちにあるものにはことごとく仏に成る可能性(種)をもっている」と仏教は教えます。

図式しますと、

「他の宗教」の場合。(命令型宗教)

神(創造主)→人間(創造物)

「仏教」の場合。(自覚の宗教)

仏↑人間

(人間は仏の真理に目覚めて仏と成る)

つまり法(真理)をさとした仏とは、自利(自ら安楽の境地に入ることであり)、そのまま

利他(安楽にいないものに安楽へ導くはたらきに向かう)、自利利他のそなわる身となることをいうのです。

今日、「一切衆生」という仏道の視点が兎角あいまいに受け取られていることは大いに反省すべきです。「仏教は人間界(濁世)からの脱却で、社会や政治とかにかかわるべきではない」とか「仏教はよく死ぬためのもの」といった誤った風潮があることは残念です。仏の教えを知るのではなく、教えを身に受けて実践するのが仏道です。

釈尊一代の根本聖典は偏に「仏説無量寿経」であると法然上人から正しく受け継いだのが親鸞聖人です。「ある国王が時のブツダの崇高な説法を聞き、身を震わせて感動し、これまでの地位、名誉、財産などに執われた空しさを知って法蔵菩薩と名のられ、衆生を救うために世に超えた誓願を成就して南無阿弥陀仏となられた」といういわれの物語が説かれているのがその内容です。

そして、このお経の中心は「法蔵菩薩はあらゆる国々の人々の姿をみそなわしてすぐれた願と誓いを建ててられた」(正信偈)というところ。 「みそなわす」というのは、「社会を見つめる」ことで社会と向き合うのが仏教です。

私たちにとつて、社会と向き合うことは簡単なことではありません。苦痛が伴います。くじけそうになり引つ込みたくなります。しかし社会を構成するのは私であり、仏の真理を軸としたとき、「たとえ苦難の中に沈むとも、忍び励みて悔いなし」と、仏の不屈の意思を抛り所に、すべての人々の苦悩に目を向けた利他行に精進する心が発芽します。

【寺灯雑記】

○心を込めて清掃奉仕

5/7

半年に一度行なわれているお仏具磨きと清掃奉仕にこの日は三十人ほどが集まり、本堂内陣のお荘厳や普段掃除のいき届かない境内や庫裏をきれいにしてくださいました。本堂内のお仏具は一見汚れていないようで十分きれいに思いますが、お磨きの前後を比較すると、やはり輝きが違います。「本物を知らない」と、本物でないものを本物だとしてしまう」との言葉を実感します。

お掃除の後は、坊守特製のカレーをいただきます。なかなか皆さんとお食事をいただく機会が減っておりますが、感染対策に留意しつつ久々に楽しいひと時を過ごしました。

○婦人会の趣味講座

5/7

毎年五月の婦人会法座は、趣味講座として今まで様々なものを作ってきましたが、今回はミニトートバッグに挑戦しました。自分好みの色や模様の紙を選んで折り上げ、それぞれに素敵なバッグができました。紙を折ることは脳にとっても良いので脳トレにも役立ちました。

○二法要を賑々しくお勤め

5/22

親鸞聖人降誕会法要と永代経法要を厳修致しました。当日の朝まで降っていた雨も開始時間にはすっかり上がり、初夏の気持ちよさを感じられる中での法要となりました。勤行に先立って、親鸞聖人の御前にて婦人

会会員による献灯・献花、住職による焼香が行われ、親鸞聖人のお誕生の日をお祝いしました。

この日の法話はケネス田中師より、「困難に向き合い、悩める力 ー理解力・受容力・本願力」とのテーマでお話くださいました。ケネス先生のユーモアを交えながら、仏教における困難との向き合い方、受容力を養う日常の実践などについてお伝えくださいました。

以下は、ケネス先生のお話のなかで提案されていた日常での実践例です。

・靴や履物への合掌：「当たり前」と思っていることに気づく。

・食前・食後の言葉：「いただきます」だけでなく、「南無阿弥陀仏」も称する。

・トイレ合掌：食べる時は、感謝。出る時も、感謝！

・仏壇の前での一時：大いなるいのちの存在を感じとる。

是非、皆さんもご参考になさって実践してみてください。

○ウクライナ人道支援金の寄付

5/27

皆様にご協力をいただいている、ウクライナ人道支援金ですが、四月に引き続き、浄土真宗本願寺派たすけあい運動募金「ウクライナ緊急支援募金」宛に二一三三四〇円を寄付いたしましたことをご報告いたします。

募金箱は引き続き、当寺玄関に設置してありますので、ご協力お願い致します。

【仏事Q&A】

Q、浄土真宗には修行はないのですか？

仏教には仏に成るために修行するものと思っ

ていて、私たちを救って仏さまに成らせるために修行をしてくださ

なりました。しかもその間も清らかでな

なかつたこともありませんでした。

このように阿弥陀如来は、清らかで、まこと

の心をもって修行を完成され、「南無阿弥陀仏」の中に、私

たちを救うためのあらゆるはたらきを込められ、私

たちに与えました。したがって、親鸞聖人は浄土真宗の行

は、阿弥陀如来から恵み与えられた「南無阿弥陀仏」のお念

仏であることとされ、これを「まこと」の行（浄土真実

の行）であると述べられています。

また浄土真宗では、知識や年齢、性別、職業などの条件を問題にすることはありませ

ん。阿弥陀如来の前ではみな平等であり、共に救われていく道こそ「南無阿弥陀仏」のお念仏なのです。

【法座・行事のご案内】

○婦人会法座

六月四日(土)午後一時

・ご文章に学ぶ

○壮年会法座

六月十二日(日)午後一時

・御文章を味わう

○子育てサロン「パンダっ子」

六月十三日(月)午前十一時〜午後二時

育児の悩みなどお気軽にご相談ください。

・途中入場、途中退出可

・事前申込不要、参加費無料

・簡単な昼食もご用意しております。

○教行信証を学ぶ(証巻)

六月十八日(土)午後二時

講師：前任職

*今月は第3土曜日です。

お間違いないようにご注意ください。

○常例法座

六月十九日(日)午後一時

お勤め：正信念仏偈

法話：柏倉学法師(我孫子市真宗寺)

○門信徒会役員会

六月十九日(日)午後二時半

【六月の掲示板のことば】

雨を嫌う人あり

恵みと感謝する人あり